



平成 26 年 6 月 20 日

各 位

会 社 名 久光製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 中富 博隆
(コード番号:4530 東京、名古屋、福岡)
問合せ先 執行役員広報室室長 金成 俊英
(TEL 03-5293-1732)

**経皮吸収型持続性疼痛治療剤『フェントス®テープ（開発コード：HFT-290）』
の「慢性疼痛」効能追加に関する承認取得のお知らせ**

久光製薬株式会社（本社：佐賀県鳥栖市、代表取締役社長執行役員：中富博隆、以下久光製薬）は、平成 25 年 7 月に日本国内で承認事項一部変更承認申請をした経皮吸収型持続性疼痛治療剤『フェントス®テープ（開発コード：HFT-290、以下本剤）』の「慢性疼痛」効能追加に関する承認を、本日付で取得しましたのでお知らせ致します。

久光製薬は、平成 22 年 4 月に「中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛」を効能効果として、日本国内で本剤の承認を取得し、協和発酵キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：花井陳雄、以下「協和発酵キリン」）と製品流通、情報の提供および収集活動を、平成 22 年 6 月より実施（1 ブランド 2 チャネル）しております。今般の承認取得にあたり、久光製薬は本剤を 1 日 1 回投与した際の、中等度から高度の「慢性疼痛」を対象とした臨床試験によって、有効性および安全性を確認致しました。

久光製薬は、協和発酵キリンと本剤の共同販売を行い、適切な情報提供を通じて、癌性疼痛および慢性疼痛に苦しむ患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に、より一層貢献してまいりたいと考えております。

以上

参考

販売名	フェントス [®] テープ 1mg、2mg、4mg、6mg、8mg (Fentos [®] Tape)
効能・効果	非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛 (ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る。) 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌 中等度から高度の慢性疼痛
用法・用量	本剤は、オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する。 通常、成人に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、1日(約24時間)毎に貼り替えて使用する。 初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法・用量を勘案して、1mg、2mg、4mg、6mgのいずれかの用量を選択する。 その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。